



トマト編

病害虫注意報 2020年6月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

栽培終了時の残渣処理特集

ハウス外に出た害虫は露地で繁殖して再び次作で飛来・侵入してきてしまいます！次作のための防除をしっかり行いましょう！

コナジラミを外に出さないためには・・・

①ハウスを1～2週間締切、ハウス内の温度を50℃以上に上げて蒸し込む

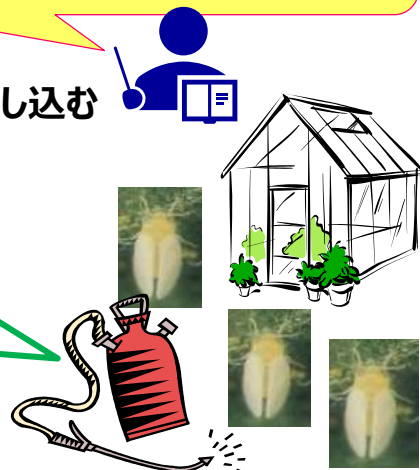
※温度を上げ過ぎると塩ビ管の糊が溶けたり、資材が変形する恐れがあります。

②有効薬剤を散布し、虫を死滅させた後に残渣を外へ出す

持ち出し前のおすすめ薬剤

モベントフロアブル 2,000倍 前日/3回

+ベストガード水溶剤 1,000～2,000倍 前日/3回



土壌消毒のポイント

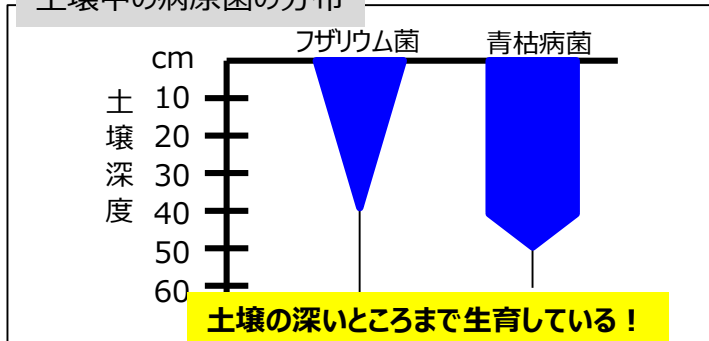
①砕土を丁寧に行う

・・・固まっている土の内部は消毒されません！

②被覆を必ず行う

・・・被覆を行わないと薬剤が抜けやすくなり、表層しか消毒できません！

土壌中の病原菌の分布



バスアミド®

微粒剤

青枯病対策でバスアミドを使用する場合

①バスアミドの散布・混和・灌水チューブの設置(下層部に存在する菌に対して効果不足になることから30kgよりも60kgが望ましい)

②被覆をしっかりとる。

③灌水の開始

(圃場から水が出ない様に注意する。)

⇒目安として、100～150L/m²

④定植作業の日程に合わせて被覆をはがし、ガス抜きをする。

(被覆期間の目安は3週間以上)



詳しい登録内容はお問い合わせください！！

バスタ液剤

地上部のみ枯らす

圃場周りの除草に！！

抑制期間が長く、さらに即効性！

使用量：300～500ml/10a

収穫前日まで

(雑草生育期定植前又は畦間処理)

3回以内

圃場周辺の雑草が大きくなる前に散布し、病害虫発生を抑えましょう！



緑の香り成分で、暑さに負けず生き生き元気！！

すずみどり

▷ ハウス内が30～35℃を超える時期に！

▷ 外とハウス内の温度差が生じやすい季節にも効果的！

▷ 曇天後の快晴時、高温障害が出やすくなる天候が変わりやすい時期に！

ハウス内に吊るだけで10a当たり10～20錠

